

愛称：みらいクリエイター

アムンディ・次世代イノベーターズ世界株式ファンド

追加型投信／内外／株式

第 2 期

(決算日 2021年6月28日)

作成対象期間 (2020年12月29日～2021年6月28日)

第 2 期末 (2021年6月28日)	
基準価額	14,408円
純資産総額	1百万円
第 2 期	
騰落率	8.5%
分配金 (税込み)	0円

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。

当ファンドは、「CPR Invest - グローバル・ディスラプティブ・オポチュニティーズ」への投資を通じて、主に世界のイノベーションを実現する企業の株式へ投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。また、「CAマネープールファンド (適格機関投資家専用)」にも投資を行います。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

【閲覧方法】

右記<お問い合わせ先>に記載されているホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」メニューから「ファンド・基準価額一覧」(当ファンドが償還した場合は「償還ファンド一覧」)をクリック⇒当該一覧から当ファンドのファンド名称をクリック⇒運用報告書(全体版)をクリック

※ホームページ掲載日より5年間は閲覧いただけます。

- 運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号

<お問い合わせ先>

お客様サポートライン：03-3593-5911

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

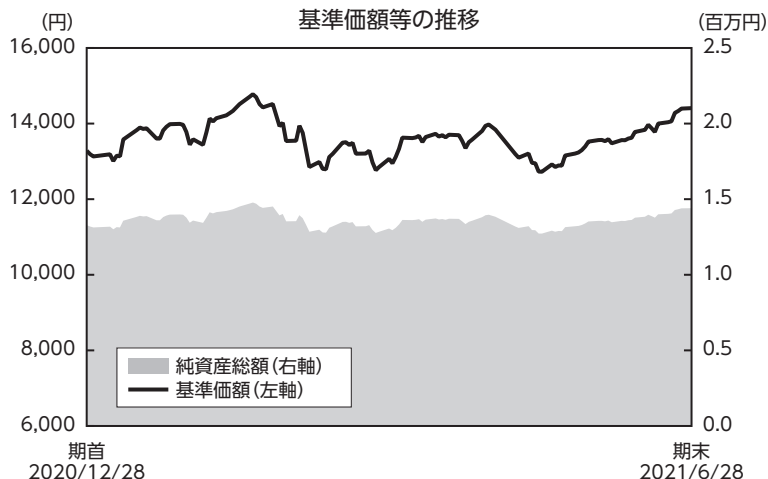
ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

第2期首	13,281円
第2期末	14,408円
既払分配金 (税込み)	0円
騰落率	8.5%

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。



基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ① 当期初から2021年2月半ばにかけて、および5月半ばから当期末にかけて、ポートフォリオで多く組入れている成長株を中心に株価が上昇したこと
- ② 2021年2月から4月初めにかけて、主要通貨に対して円安傾向となったこと

下落要因

- ① 2021年2月末から3月末にかけて、および4月末から5月にかけて、ポートフォリオで多く組入れている成長株を中心に株価が下落したこと

1 万口当たりの費用明細

項 目	第 2 期 (2020年12月29日 ～2021年6月28日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	72円 (18) (52) (2)	0.538% (0.137) (0.384) (0.016)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (印 刷 費 用)	6 (0) (5)	0.041 (0.002) (0.039)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	78	0.579	

期中の平均基準価額は13,463円です。

(注1) 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

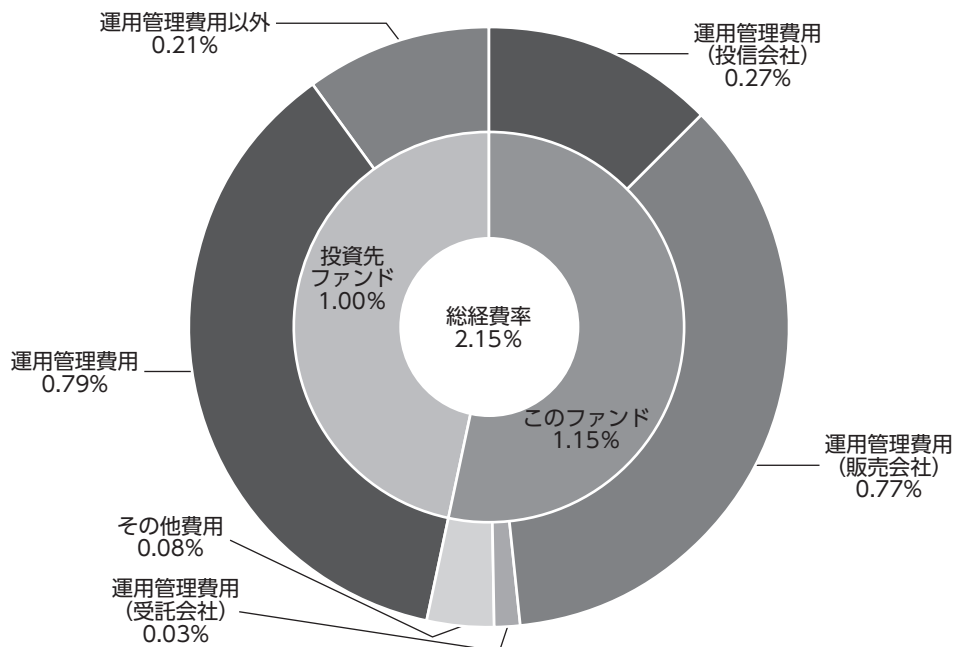
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.15%です。



総経費率 (①+②+③)	2.15%
①このファンドの費用の比率	1.15%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.79%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.21%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

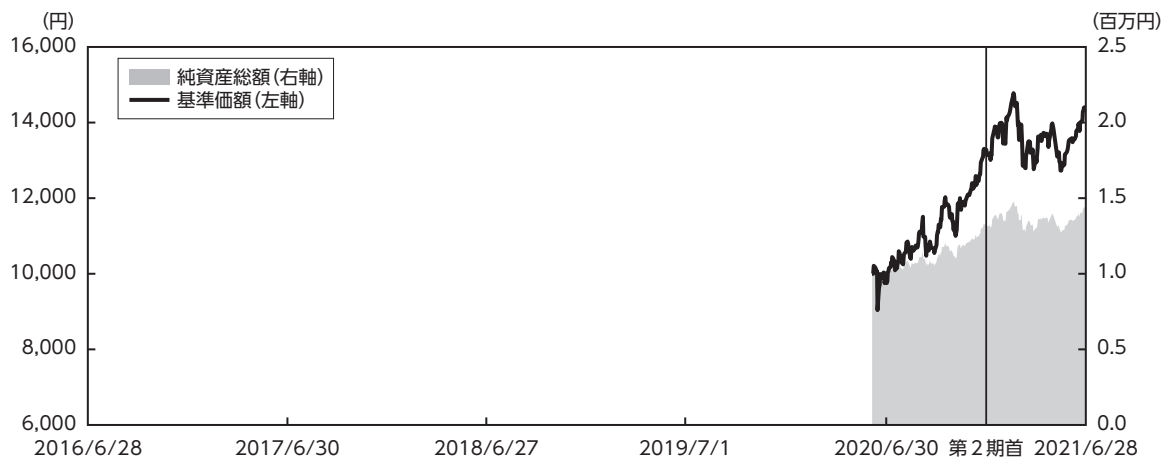
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2016年6月28日～2021年6月28日)



※運用実績が5年未満でも横軸は5年間表示しております。

最近5年間の年間騰落率

	—	—	—	—	2020/6/2 設定日	2021/6/28 決算日
基準価額 (円)	—	—	—	—	10,000	14,408
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	—	—	—	—	0
基準価額騰落率 (%)	—	—	—	—	—	44.1 [*]
純資産総額 (円)	—	—	—	—	1,000,000	1,440,816

※設定日から2021年6月28日までの騰落率です。

(注) 運用成果の目標基準となるベンチマークおよび運用方針に対し適切に比較できる参考指数はありません。

投資環境

<世界株式市場>

世界株式市場では、リード役の交代にともなう混乱が何度かあったものの、調整局面を短期間で完了して上昇傾向を維持し、最高値で当期末を迎えました。新型コロナウイルスのワクチン接種の進展で経済活動が再開したことや、主要国の巨額の財政支援、主要企業の業績回復、低位推移する政策金利などが株価の上昇を支えました。

セクターとしては原油価格の上昇が寄与してエネルギーが最も上昇し、長短金利差拡大や不良債権比率の低下で収益性が回復する金融、経済活動再開が恩恵となる不動産も好調でした。一方、景気回復の恩恵の小さい公益事業や生活必需品はわずかな上昇にとどまりました。2021年2月末から3月にかけては長期金利の急上昇をきっかけに、昨年来大きく上昇してきた成長株から割安で景気感応度の高い銘柄に物色の対象が移行し、同様の動きは4月末から5月にかけてもみられ、成長株の多い情報技術はこの間大きく調整しました。長期金利は5月半ば以降低下し、情報技術も反発しましたが、通期ではアンダーパフォームとなり、ヘルスケアもこれに準じる形で推移しました。

<為替市場>

当期前半は、日銀がマイナス金利の一段の引き下げを可能とする新制度を導入したことや、米国の長期金利上昇を背景に円安が進行しました。

米ドル/円相場は、当期初の1米ドル103円台から、2021年3月末には110円台まで上昇しました。4月には米国の長期金利上昇が一服したことを受け、1米ドル107円台まで小反落しましたが、5月以降は米国政策金利の早期引き上げ観測を織り込んでジリ高となり、110円台で当期末を迎えました。

欧州通貨は4月以降も対円で強含む展開が6月初めまで続きました。その後もECB（欧州中央銀行）の緩和継続と新型コロナウイルス変異株の感染再拡大への警戒などから反落しました。

<日本短期国債市場>

当期の短期国債市場では、日銀によるマイナス金利政策のもと、TDB（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りは-0.10%前後の低い水準で始まりました。その後、TDB 3ヵ月物の入札結果からもしっかりとした需要が確認され、利回りは小幅低下しました。当期末にかけては、様子見ムードが継続し、-0.10%前後の水準で当期末を迎えました。

ポートフォリオ

<当ファンド>

当ファンドは、世界のイノベーションを実現する企業の株式へ投資する「CPR Invest - グローバル・ディスラプティブ・オポチュニティーズ」に投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。「CPR Invest - グローバル・ディスラプティブ・オポチュニティーズ」の組入比率は、高位を維持しました。また、「C A マネープールファンド (適格機関投資家専用)」にも投資を行いました。(アムンディ・ジャパン株式会社)

<CPR Invest - グローバル・ディスラプティブ・オポチュニティーズ>

当ファンドは、当期初から組入銘柄の好業績を支えに株式市場を上回る良好なパフォーマンスを示していましたが、景気回復の進行をうけてインフレ懸念が台頭し、市場のけん引役が成長株から割安な景気敏感株に急速に移行するなか、2021年2月半ばから急反落となりました。3月初めに当期初の水準を下回ったあとは一進一退でしたが、4月末から一段安となりました。5月半ば以降は長期金利の落ち着きと好業績の継続を受けて反発に転じ、当期末まで続伸しました。

通期では当ファンド独自の投資ユニバース4分類のいずれも上昇したものの、株式市場を上回るパフォーマンスを実現したのはライフサイエンス&ヘルスのみで、組入比率の最も大きいデジタルエコノミーなど3分類は一桁台の上昇率にとどまりました。ポートフォリオでは特に3月に大幅な銘柄入れ替えを実施し、比較的大型で景気感応度の高い銘柄の比率が増加しました。また、ライフサイエンス&ヘルスの組入比率を引き下げ、アースなどに配分しました。

(CPRアセットマネジメント)

<C A マネープールファンド (適格機関投資家専用)>

当期、主として12ヵ月以内に償還を迎える地方債への投資により、安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

ベンチマークとの差異

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円・1万口当たり・税込み)

項目	第2期
	(2020年12月29日～2021年6月28日)
当期分配金	—
(対基準価額比率)	(—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,408

- ・「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。
- ・「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<当ファンド>

当ファンドが主要投資対象とする「CPR Invest - グローバル・ディスラプティブ・オポチュニティーズ」の組入比率を引き続き高位に保ちます。また、「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」にも投資します。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

<CPR Invest - グローバル・ディスラプティブ・オポチュニティーズ>

足元の物価上昇を受け、インフレが定着することが懸念材料ですが、経済活動の再開で物流などのボトルネックは徐々に解消するものとみられます。当ファンドは今後の見通しを強気にみており、ポートフォリオでは年初来でアンダーパフォームしている銘柄を中心に組入れを増やす予定です。クラウド、ビッグデータ、ライフサイエンス機器、再生可能エネルギーといったテーマにそのような銘柄が散見されます。当ファンドの株式市場全体に対する相対的なバリュエーションは過去の平均よりも低く、年後半に実現が期待される好材料を考慮すると見通しは良好であるとみています。

(CPRアセットマネジメント)

<CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）>

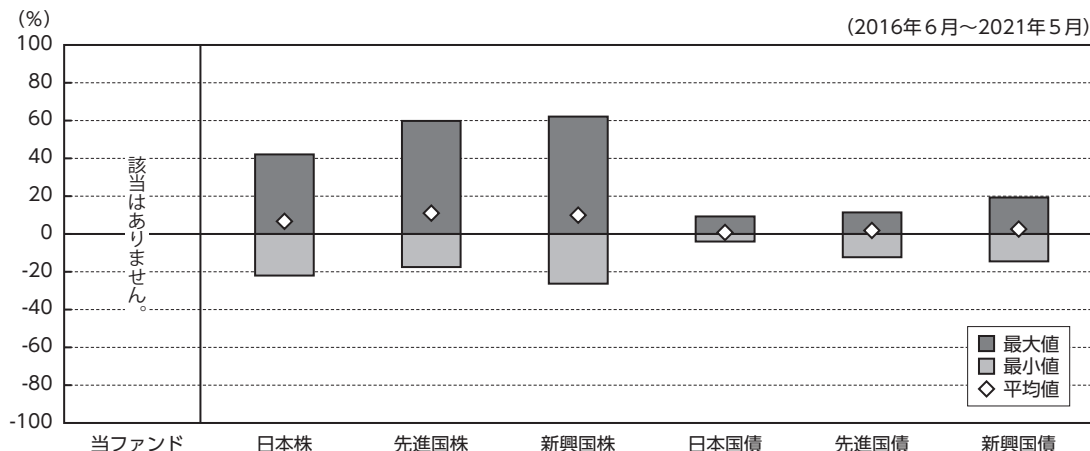
安全性重視の観点から、12ヵ月以内に償還を迎える債券への投資により安定的な運用を行います。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2020年6月2日から2030年6月27日までです。	
運用方針	「CPR Invest - グローバル・ディスラプティブ・オポチュニティーズ」への投資を通じて、主に世界のイノベーションを実現する企業の株式へ投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。また、「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」にも投資を行います。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	アムンディ・次世代イノベティブ世界株式ファンド	CPR Invest - グローバル・ディスラプティブ・オポチュニティーズ CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）
	CPR Invest - グローバル・ディスラプティブ・オポチュニティーズ	世界の株式等
	CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）	本邦通貨表示の短期公社債
運用方法	<p>①「CPR Invest - グローバル・ディスラプティブ・オポチュニティーズ」への投資を通じて、主に世界のイノベーションを実現する企業の株式へ投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。また、「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」にも投資を行います。</p> <p>②「CPR Invest - グローバル・ディスラプティブ・オポチュニティーズ」への投資比率は、原則として高位とすることを基本とします。</p> <p>③組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
分配方針	<p>毎決算時（年2回決算、原則として毎年6月と12月の各27日。ただし、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みません）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率

(%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	—	6.7	11.0	9.9	0.8	1.8	2.7
最大値	—	42.1	59.8	62.1	9.3	11.4	19.3
最小値	—	-22.0	-17.5	-26.3	-4.0	-12.3	-14.5

(注) 当ファンドの年間騰落率はありません。他の代表的な資産クラスについては、2016年6月から2021年5月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・騰落率は直近月末から遡って算出した結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

2021年6月28日現在

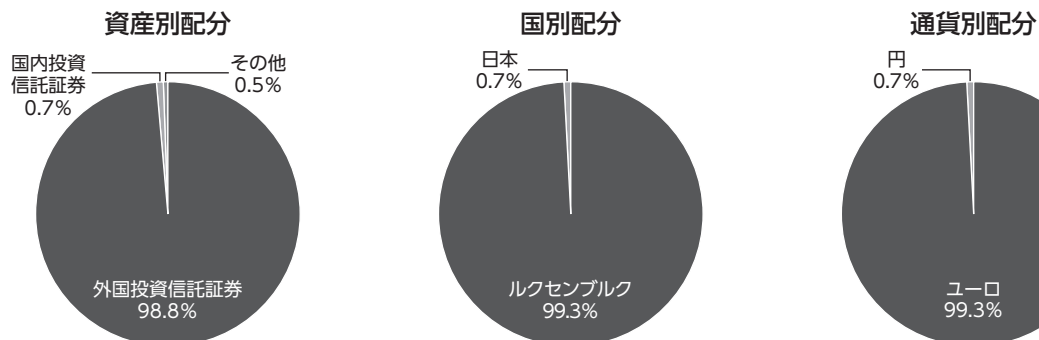
(組入銘柄数：2銘柄)

	銘柄	通貨	比率
1	CPR Invest - グローバル・ディスラプティブ・オポチュニティーズ	ユーロ	98.8%
2	CAマネープールファンド (適格機関投資家専用)	円	0.7%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

純資産等

項目	第2期末 2021年6月28日
純資産総額	1,440,816円
受益権総口数	1,000,000口
1万口当たり基準価額	14,408円

※当期間(第2期)中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

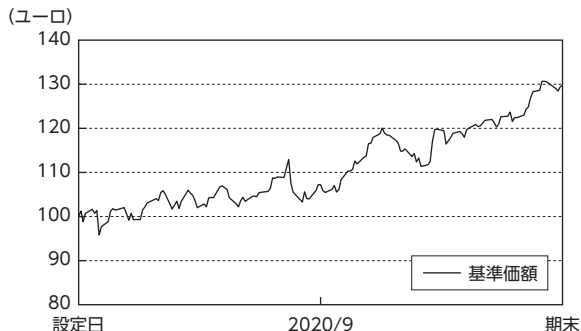
組入ファンドの概要

<CPR Invest - グローバル・ディスラプティブ・オポチュニティーズ>

決算日：2020年12月31日

「基準価額の推移」は組入シェアクラスの内容ですが、他の開示情報につきましては、組入ファンド全体の内容を掲載しています。

基準価額の推移（組入シェアクラス）



（注）設定日（2020年6月2日）からの基準価額です。

組入上位10銘柄

2020年12月31日現在

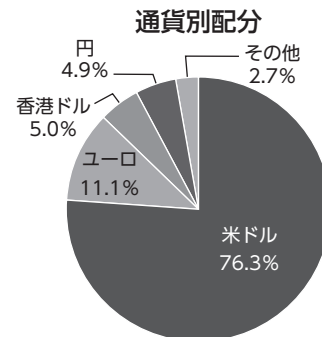
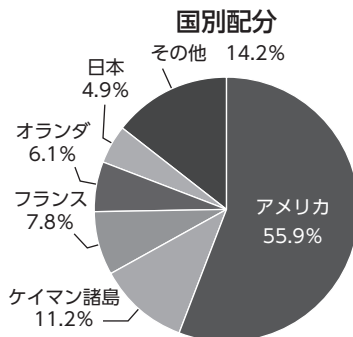
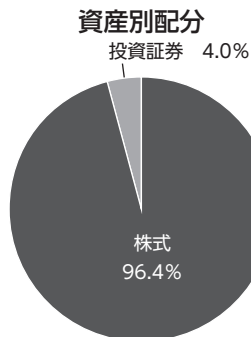
（組入銘柄数：65銘柄）

	銘柄	通貨	発行国	比率
1	CPR CASH SICAV -I- CAP	ユーロ	フランス	3.8%
2	MARVELL TECHNOLOGY GROUP LTD	米ドル	バミューダ	3.0%
3	PALO ALTO NETWORKS	米ドル	アメリカ	2.7%
4	TRANSUNION	米ドル	アメリカ	2.6%
5	NIDEC CORP	円	日本	2.5%
6	ZENDESK INC	米ドル	アメリカ	2.4%
7	EDWARDS LIFESCIENCES CORP	米ドル	アメリカ	2.4%
8	MERCK & CO INC	米ドル	アメリカ	2.4%
9	DAIFUKU CO	円	日本	2.4%
10	RINGCENTRAL INC	米ドル	アメリカ	2.4%

（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されております。

種別構成



（注1）資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

（注3）比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

1万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしていません。

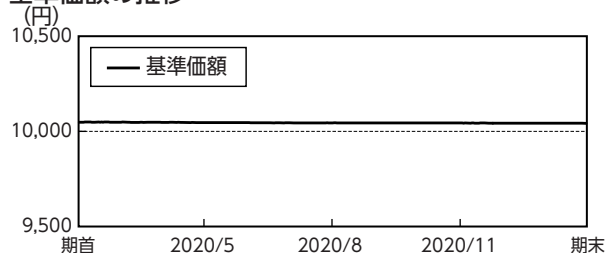
組入ファンドの概要

<CAマネープールファンド(適格機関投資家専用)>

第14期 決算日：2021年2月15日

(計算期間：2020年2月18日～2021年2月15日)

基準価額の推移



組入銘柄

2021年2月15日現在

(組入銘柄数：3銘柄)

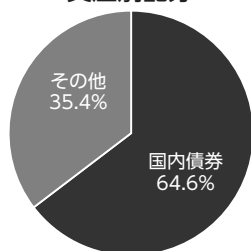
	銘柄	種別	比率
1	第348回大阪府公募公債(10年)	地方債	25.9%
2	平成28年度第2回札幌市公募公債(5年)	地方債	25.8%
3	第946回国庫短期証券	国債	12.9%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

種別構成

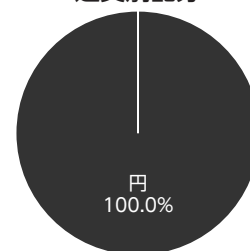
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

1万口当たりの費用明細

項 目	第14期 (2020年2月18日 ～2021年2月15日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	1円 (1) (0) (0)	0.011% (0.009) (0.001) (0.002)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (その他)	1 (1)	0.005 (0.005)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	2	0.016	

期中の平均基準価額は10,044円です。

(注1) 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

指数に関して

◇「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

• 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) とは、東京証券取引所第一部に上場している全銘柄を対象として算出した指数で、TOPIXの指数値およびTOPIXの商標は東京証券取引所の知的財産であり、同指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利およびTOPIXの商標に関するすべての権利は、東京証券取引所が有します。東京証券取引所は、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有します。

• MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村證券株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。

• FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) とは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

• JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドとは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している、現地通貨建のエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント